

1. 事業概要

1. 1 事業の背景と目的

水産庁は、ICT を活用して漁業活動や漁場環境の情報を収集し適切な資源評価・管理を促進するとともに、生産活動の省力化や、操業の効率化・漁獲物の高付加価値化により、生産性を向上させる「スマート水産業」を推進している。本事業では、来るべきスマート水産業時代に対応したデータのガイドライン策定およびデータ標準化についてまとめるとともに、水産業における「データのフル活用」の具体的な事例を示すため、ユースケースを想定した実証を行うとともに、その取組を実施するための環境整備のために必要な議論を行う。

1. 2 事業の内容

本事業では 3 つのユースケースを想定したプロジェクト、実際のデータ連携基盤のパイロットシステムの構築、基盤整備に係るガイドライン策定とデータ標準化の策定を行った。

プロジェクト 1 では、沖縄県において、まぐろ延縄漁船団におけるマーケットインを考慮した位置情報、漁獲情報の共有を可能とし、漁獲物を高価値で販売可能な環境の実現に関する事業を実施した。プロジェクト 2 では、北海道において、複数定置網（サケなど）での環境情報等の収集・共有による、新たなビジネスモデルの創出への基盤構築を実施した。プロジェクト 3 では、知事許可漁業を対象に、漁獲成績報告書の作成を支援する基礎データの収集整理、支援ロジックの検討を行った。実際のデータ連携基盤構築では、スマートブイネットワークのパイロットシステムを構築し、アプリ等の開発を行った。ガイドライン策定・データ標準化では、データポリシーおよび汎用的なデータ流通のためのデータ標準化を検討する有識者会議の開催と取りまとめを行った。

1. 3 事業実施体制

事業実施に関して、一般社団法人漁業情報サービスセンター（以下「JAFIC」とする。）、国立研究開発法人水産研究・教育機構（以下「水産機構」とする。）、公立大学法人 公立はこだて未来大学（以下「はこだて未来大学」とする。）、日本事務器株式会社（以下「NJC」とする。）、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所（以下「NTT データ経営研究所」とする。）、が共同実施機関を組んで実施した。

1. 4 事業実施方針

短期間で確実に成果が上がる計画を立案実行するため、各プロジェクトは独立して事業を進めた。すべてのプロジェクトと有識者会議の検討を総括する総合委員会を設置してプロジェクト全体の管理を行う予定であったが、コロナの影響もありメールベース、個別、ネット会議で対応した。プロジェクトスケジュールを表 1-1 に示す。

1. 5 事業の波及効果

本事業で実施する各プロジェクトの具体的事例が水産業 ICT 化の指針となる。また検討した API やクラウド等の概念設計及びポリシーやルールについては、後続する事業等でも利活用可能なものとしてそれを推進することで、今後の水産ビッグデータを検討においての指針となりうるものとした。

表 1-1 実施計画 (全体)

	4月	5月	6月	7月	第2四半期		第3四半期		12月	1月	2月	3月
					8月	9月	10月	11月				
	第1四半期			第2四半期		第3四半期		第4四半期				
		▲総合委員会	▲JV運営会議		▲JV運営会議	▲総合委員会	▲JV運営会議	▲総合委員会	▲JV運営会議	▲総合委員会	▲総合委員会	報告書作成
水産業データ連携基盤構築 (全体調整・総括)	一般社団法人漁業情報サービスセンター 国立研究開発法人水産研究・教育機構	●計画調整 ●API/APP開発	●API/APP開発	●クラウド等 ネットワーク検 討開発	●API/APP検証	●まとめ						
水産業データ連携基盤構築	一般社団法人漁業情報サービスセンター	●計画調整	●ヒヤリング ●開発スタート		●ヒヤリング							
プロジェクト1 (沖縄延縄漁業漁獲報告)	公立大学法人 公立はこだて未来大学	●計画調整	●ヒヤリング ●開発スタート		●ヒヤリング						●まとめ	
プロジェクト2 (北海道定置網漁獲報告)	日本事務器株式会社	●計画調整 ●設計・テスト・連携		●機材設置 ●情報収集・情報配信					●評価検証			
プロジェクト3 (スマート漁獲成績報告書作成支援)	一般社団法人漁業情報サービスセンター	●計画調整 ●操業・水揚げ情報調査 ●登録許可調査	▲委員会	●API/APP等検討	●API/APP開発				●評価検証	▲委員会	▲委員会	報告書作成
有識者会議	株式会社エス・ティ・ティ・データ経営研究所	●規約ヒヤリング	▲委員会	▲委員会 ●標準化ヒヤリング	●規約検討 ●ユーザー管理 ヒヤリング	▲委員会 ●標準化策定 ●ユーザー管理 検討	▲委員会 ●標準化策定 ●ユーザー管理 策定	▲委員会 ●規約策定 ●ユーザー管理 策定			▲委員会	